

平成30年度 第1回 景気動向調査報告書

平成30年11月30日

1. 調査目的

本調査を毎年10月及び4月の年2回に渡り実施することで同地区内における経済動向等に関する情報分析を行い、効果的な経営支援の実施並びに事業活動の方向性を検討する材料となるよう情報提供することを目的とする。

2. 調査の時期

第1回 平成30年10月実施 11月公表（調査対象期間：平成30年4月～9月）

第2回 平成31年4月実施 5月公表（調査対象期間：平成30年10月～平成31年3月）

3. 調査対象企業及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
全業種		40	40	100.0
卸売・小売業		19	19	100.0
サービス業		13	13	100.0
	（ 不動産業、飲食店 宿泊業、その他			
製造業		2	2	100.0
建設業		6	6	100.0

4. 調査区分

商業関連 ①卸売・小売業 ②サービス業（不動産業・飲食店・宿泊業・その他）

工業関連 ①建設業 ②製造業

5. 調査事項

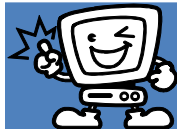
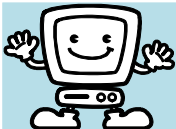



商業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③客数 ④客単価 ⑤経費

⑥資金繰り ⑦従業員数 ⑧金融機関の融資状況 ⑨今後の見通し（売上）

工業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③引き合い ④資金繰り ⑤従業員数

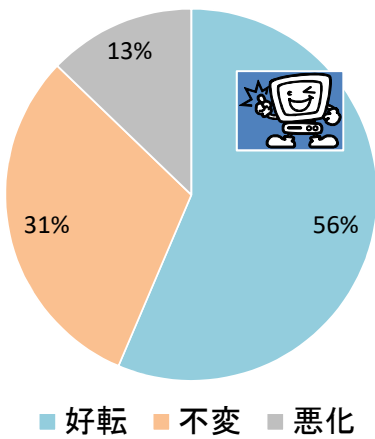
⑥在庫数量 ⑦受注・製品単価 ⑧設備投資 ⑨今後の見通し（売上）

6. 各調査項目の判断目安

特に好調 	好調 	まあまあ 	不振 	極めて不振 
増加・好転 目安 50%以上～	増加・好転 目安 40%以上～	不変 目安 30%以上～	減少・悪化 目安 40%以上～	減少・悪化 目安 50%以上～

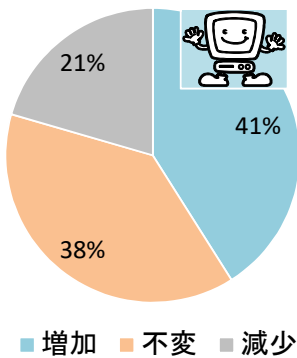
調査結果【商業関連】

【今後の見通し（売上）】

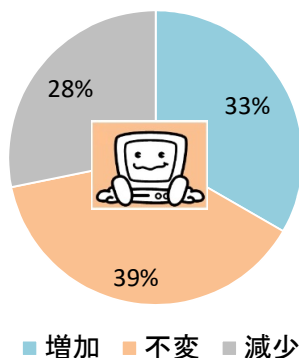


県内需要については観光関連産業が台風や関西空港の一時閉鎖による影響が見られるものの全体としては好調を維持しており、個人消費の今後の見通しについてもこのまま好調を維持若しくは好転することが見込まれる。一方、慢性的に続いている人材不足は深刻で、ほぼすべての業種で「従業員確保」を経営課題としてあげている。飲食店については仕入価格の上昇に伴う利益率の低下が懸念されており、消費税増税と合わせた対応が求められる。他に現在直面している経営上の課題については業種別で多少のバラつきはあるが、「人件費増加」「仕入価格上昇」「利益率低下」「駐車場確保難」を主に上げている。「後継者不在」を加えた『人財確保』及び来年に控える消費税増税対策が今後の経営上の課題として続きそうである。

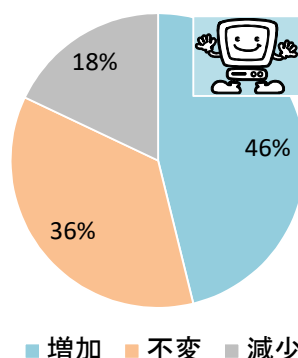
【売上高】



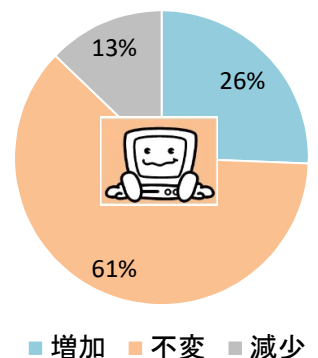
【採算（粗利）】



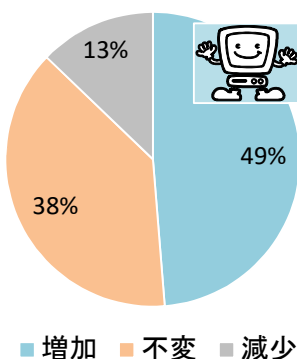
【客数】



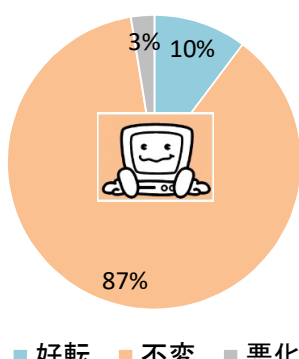
【客単価】



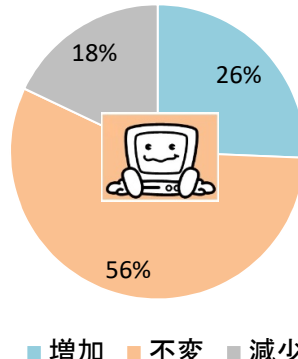
【経費】



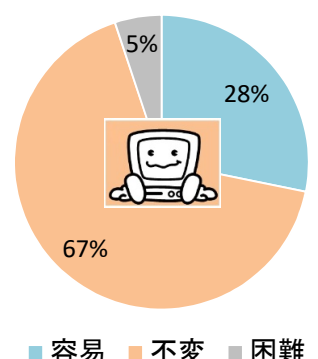
【資金繰り】



【従業員数】



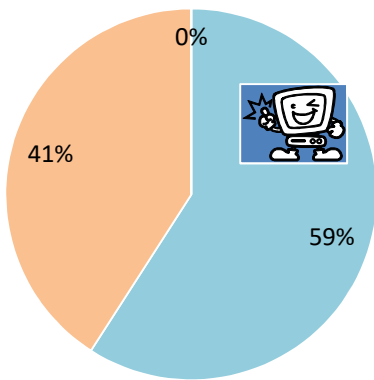
【融資状況】



<p>特に好調</p> <p>増加・好転 目安 50%以上～</p>	<p>好調</p> <p>増加・好転 目安 40%以上～</p>	<p>まあまあ</p> <p>不変 目安 30%以上～</p>	<p>不振</p> <p>減少・悪化 目安 40%以上～</p>	<p>極めて不振</p> <p>減少・悪化 目安 50%以上～</p>
--	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	---

調査結果【工業関連】

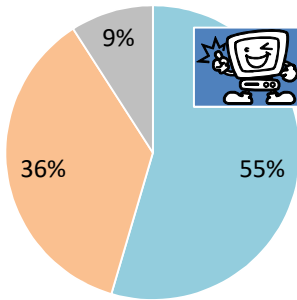
【今後の見通し（売上）】



■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

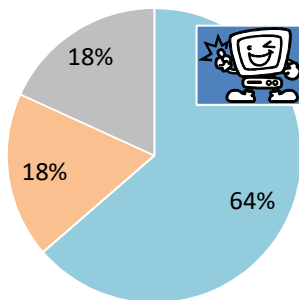
県内需要については個人消費が比較的好調の上、観光関連の波及効果により建設関連も概ね好調に推移しており、本アンケートによる今後の見通しについては好転との回答が59%と多く今後の見通しについては明るい。また、沖縄県経済動向によると建設業については住宅着工は戸数、面積ともに前年を下回っており、非居住建築物については前年の大型工事の反動により面積、工事費ともに前年を下回っているものの高水準を維持している。現在直面している経営上の課題については、「技術者の確保」「従業員確保難」「人件費増加」「原油・原材料高」を上げている。特に人材不足は深刻で、技術者や若い人材等の確保に苦戦し、引き合いはあるが受注を回避するケースが見られる。

【売上高】



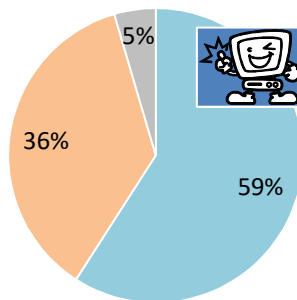
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



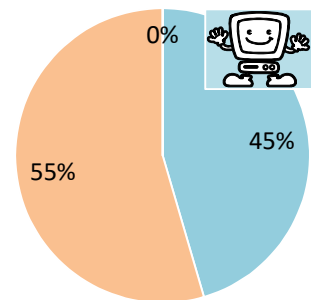
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【引き合い】



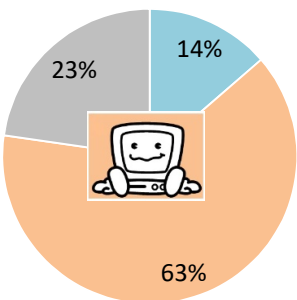
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



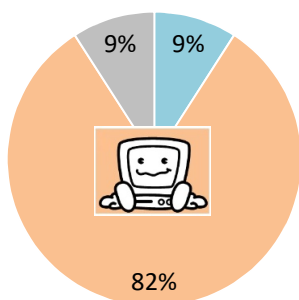
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【従業員数】



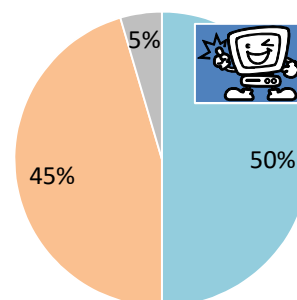
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【在庫数（製品）】



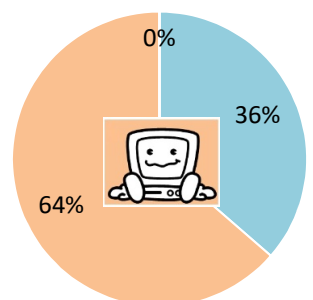
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【受注・製品単価】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【設備投資】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

<p>特に好調</p> <p>増加・好転 目安 50%以上～</p>	<p>好調</p> <p>増加・好転 目安 40%以上～</p>	<p>まあまあ</p> <p>不変 目安 30%以上～</p>	<p>不振</p> <p>減少・悪化 目安 40%以上～</p>	<p>極めて不振</p> <p>減少・悪化 目安 50%以上～</p>
--	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	---

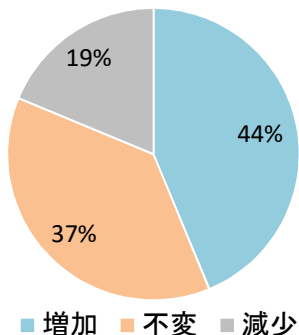
1. 主要3項目（売上高・採算・資金繰り）から見た業種別景気動向

【小売業】

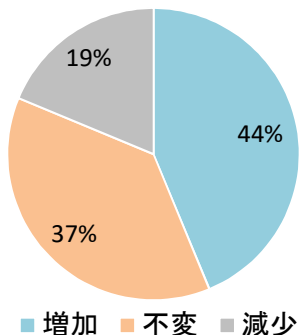
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（14.0%）、人件費増加（14.0%）、仕入価格上昇（11.6%）、利益率低下（11.6%）、売上減少（9.3%）、店舗老朽化（9.3%）等

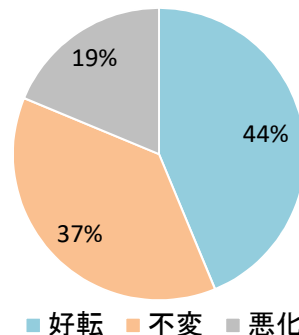
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

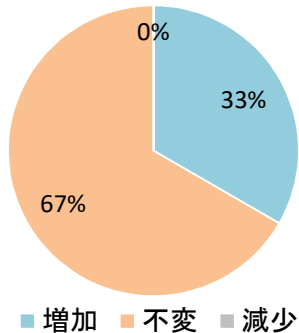


【卸売業】

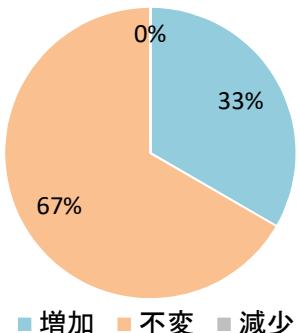
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇（22.2%）、従業員確保（11.1%）、売上減少（11.1%）、人件費増加（11.1%）、店舗老朽化（11.1%）、利益率低下（11.1%）等

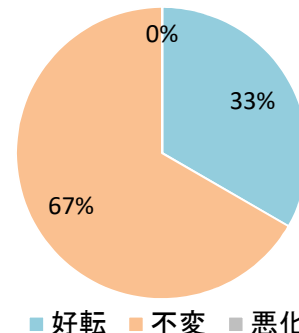
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

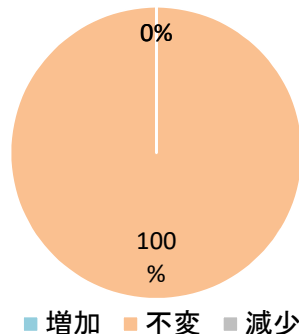


【不動産業】

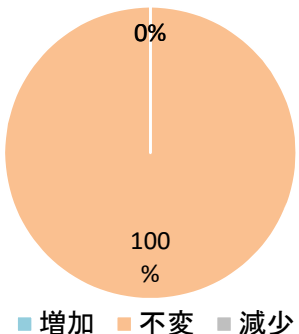
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（22.2%）、諸経費増加（22.2%）、大型店との競合激化（11.1%）、人件費増加（11.1%）

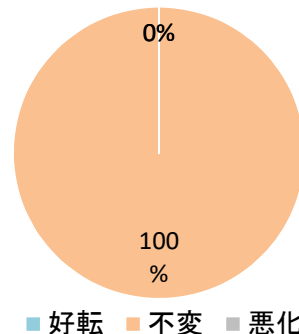
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

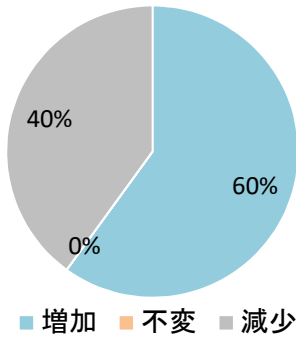


【飲食店】

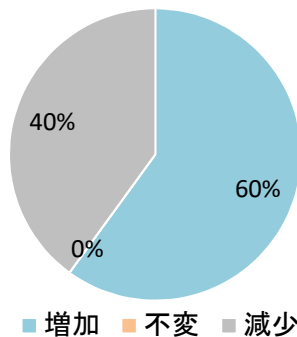
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇（20.0%）、人件費増加（20.0%）、従業員確保（20.0%）、店舗老朽化（13.3%）、駐車場確保難（13.3%）、売上減少（6.7%）等

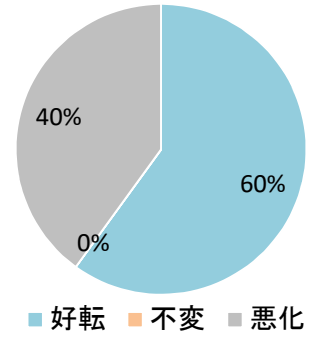
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

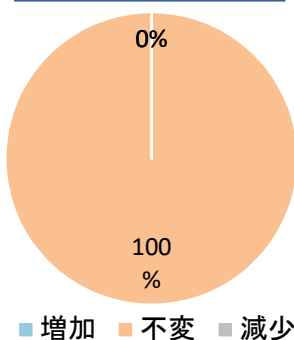


【宿泊業】

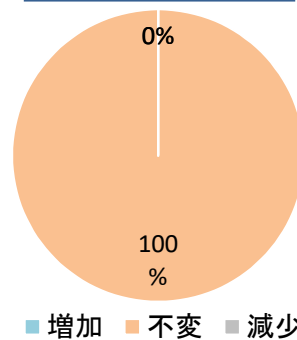
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（33.3%）、人件費増加（33.3%）、諸経費増加（33.3%）

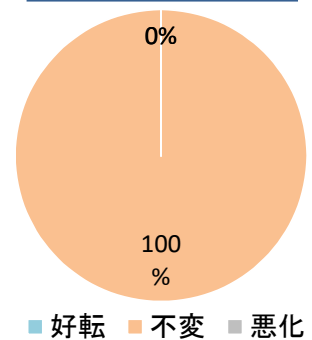
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

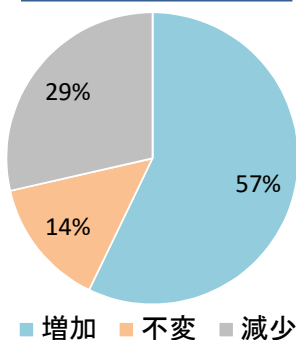


【サービス業】

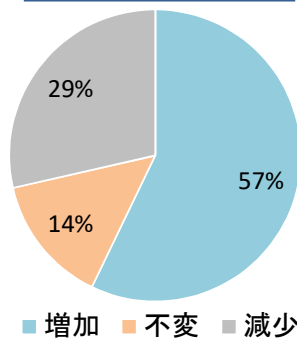
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保（25.0%）、駐車場確保難（15.0%）、売上減少（15.0%）、人件費増加（15.0%）、後継者問題（10.0%）、店舗老朽化（5.0%）等

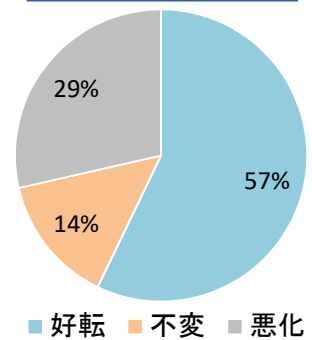
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

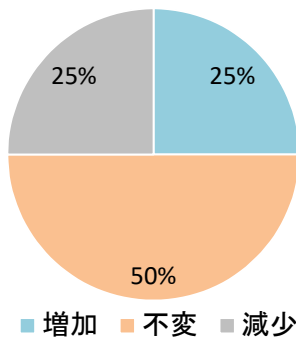


【その他】

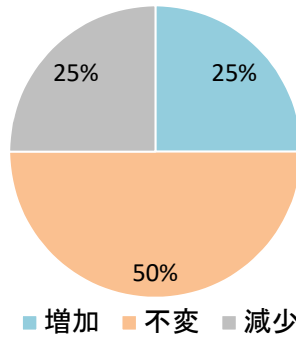
主な今期直面している経営上の問題

利益率低下（20.0%）、人件費増加（20.0%）、諸経費増加（20.0%）、従業員確保（10.0%）、売上減少（10.0%）、後継者問題（10.0%）等

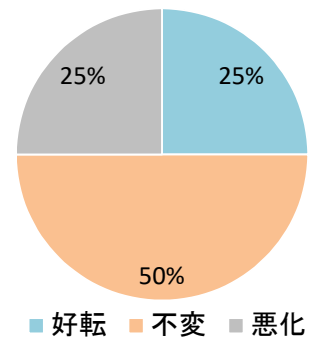
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

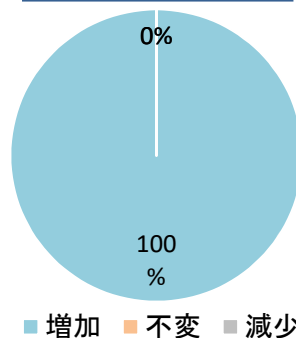


【製造業】

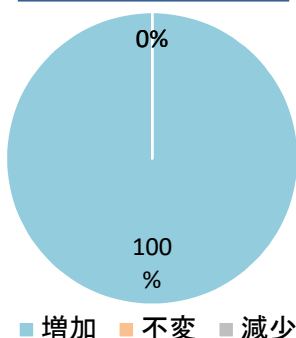
主な今期直面している経営上の問題

技術者不足（33.3%）、従業員確保難（33.3%）、人件費増加（16.7%）、設備不足・老朽化（16.7%）

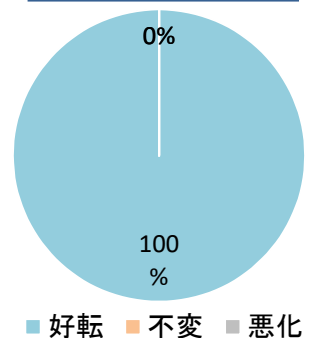
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

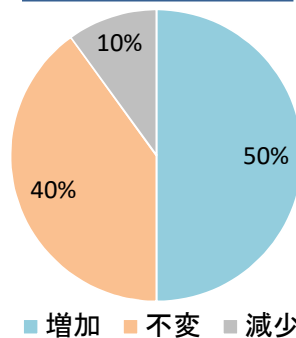


【建設業】

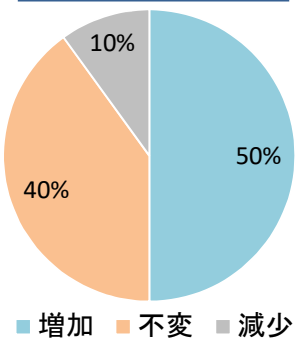
主な今期直面している経営上の問題

技術者不足（28.1%）、従業員確保難（24.6%）、人件費増加（12.3%）、後継者問題（7.0%）、設備不足・老朽化（7.0%）、売上高の減少・停滞（7.0%）等

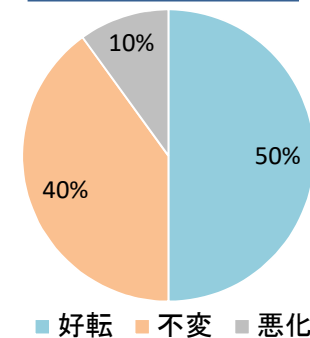
【売上高】



【採算（粗利）】

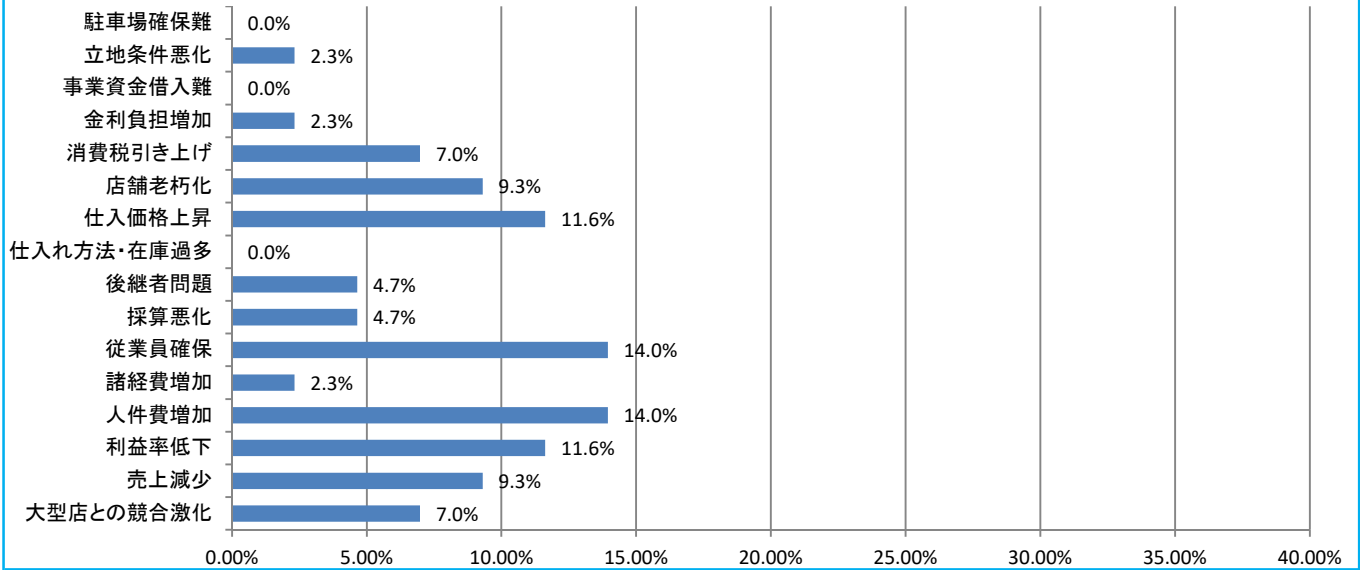


【資金繰り】

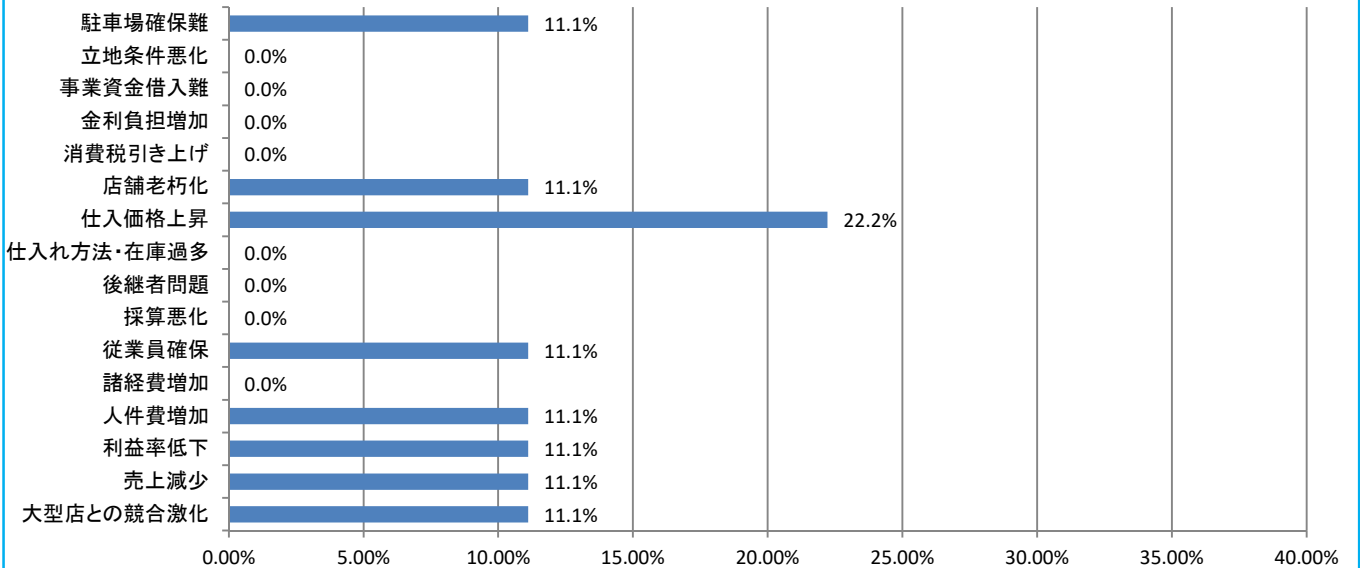


2. 経営上の問題点について

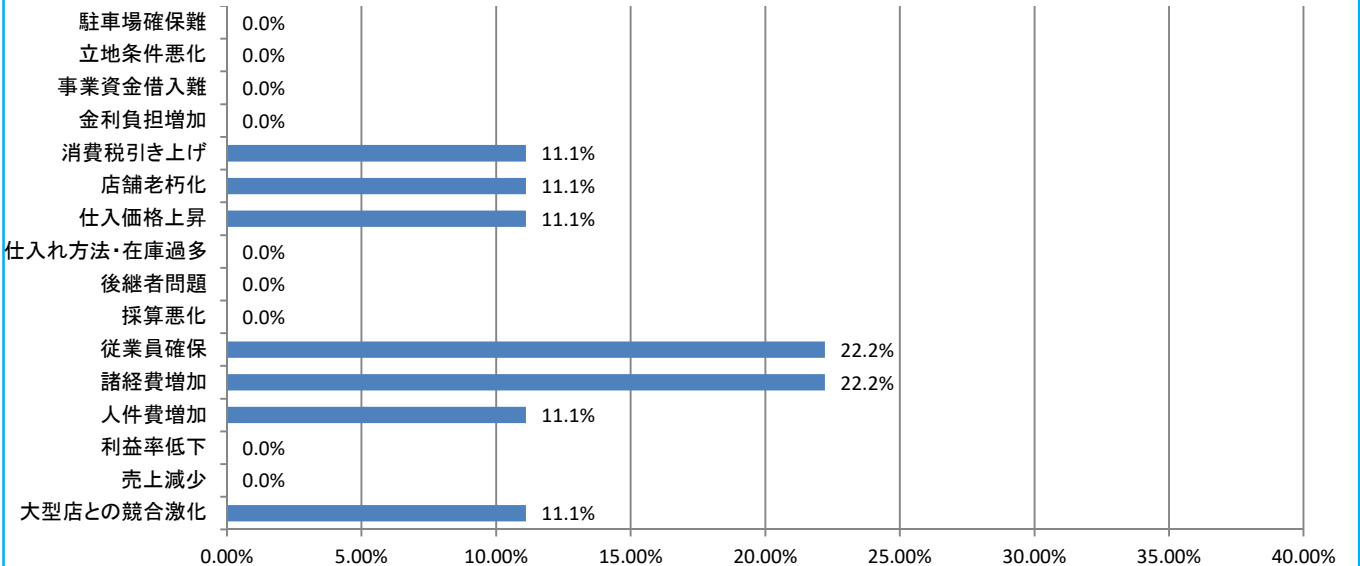
【小売業】



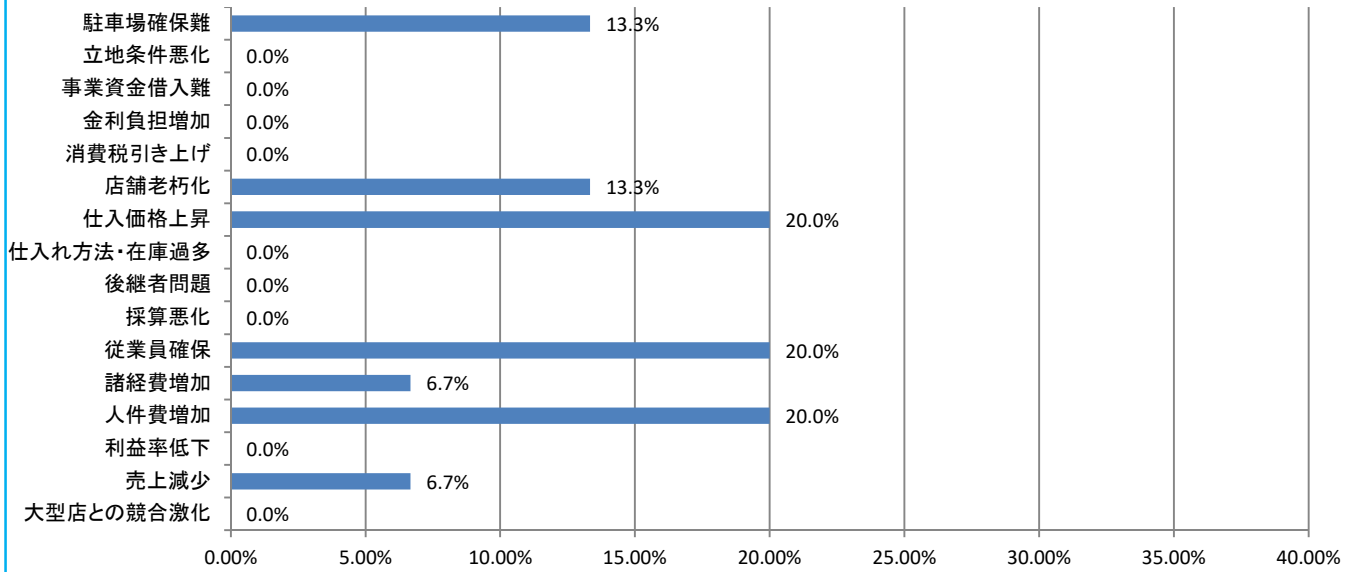
【卸売業】



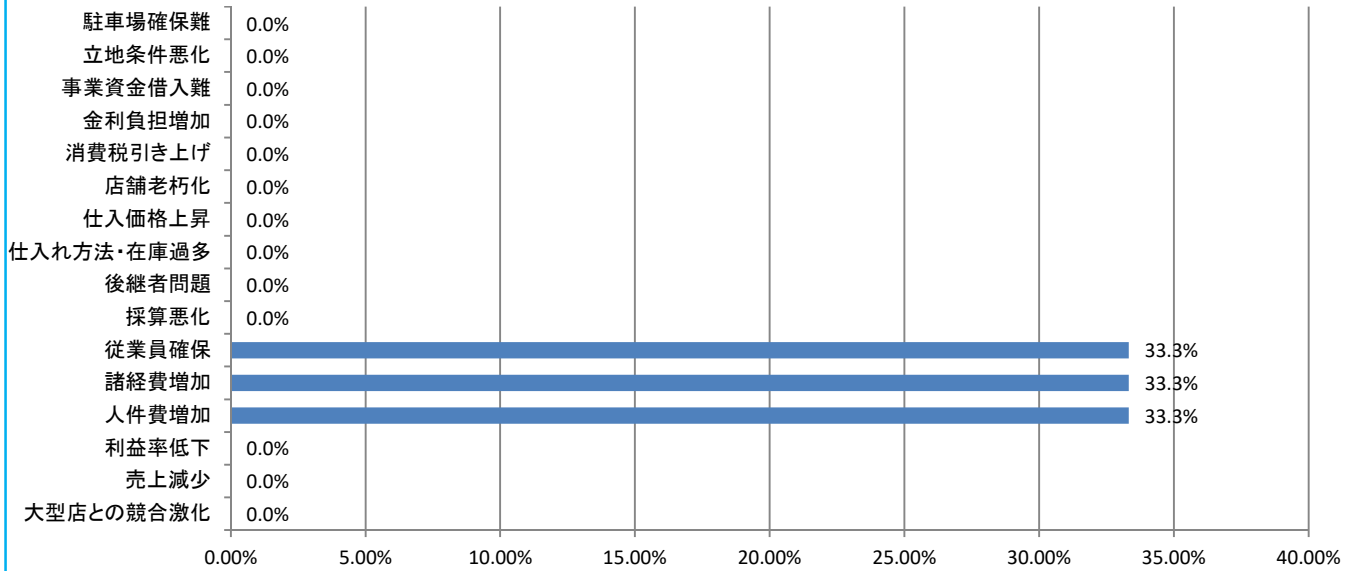
【不動産業】



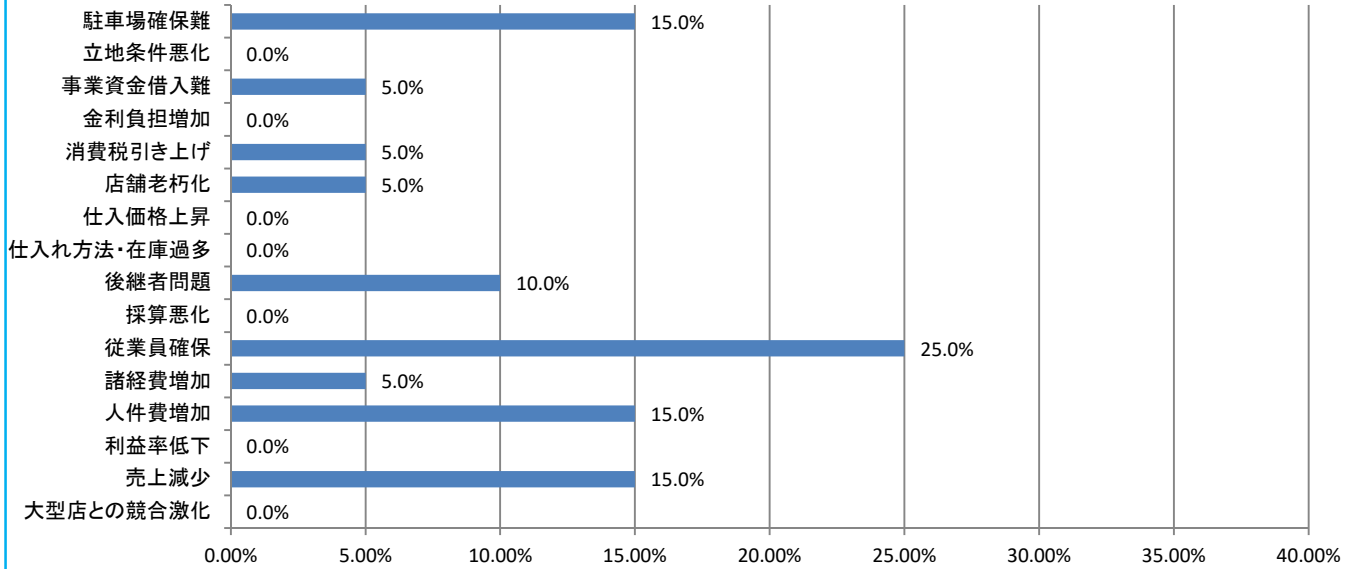
【飲食店】



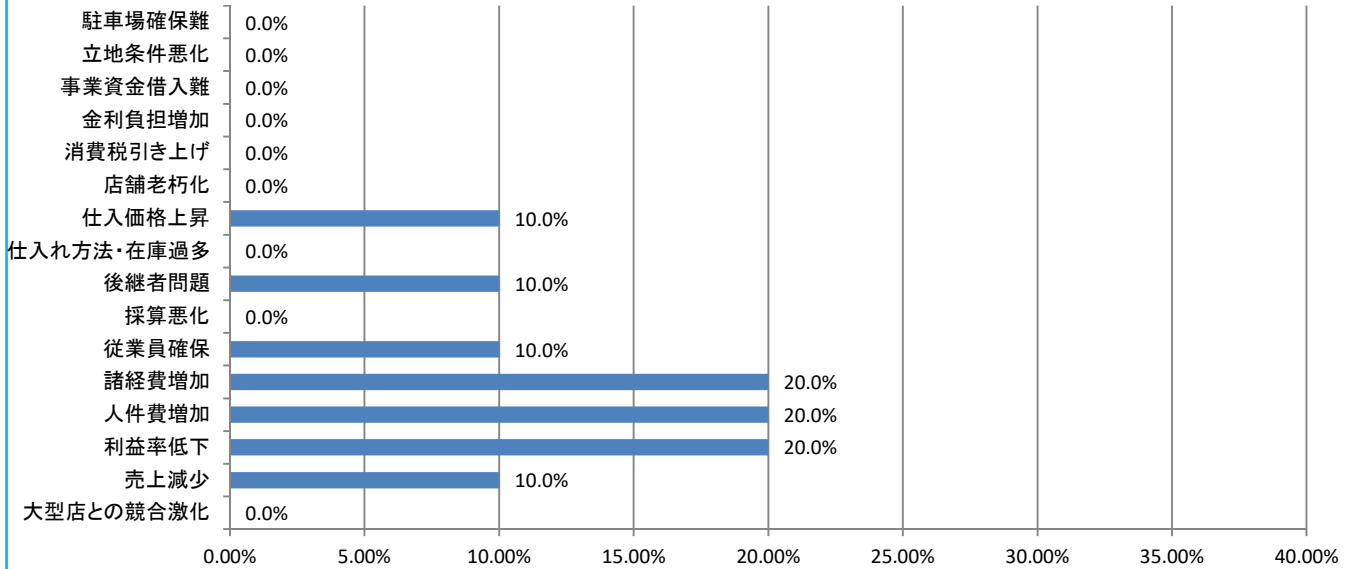
【宿泊業】



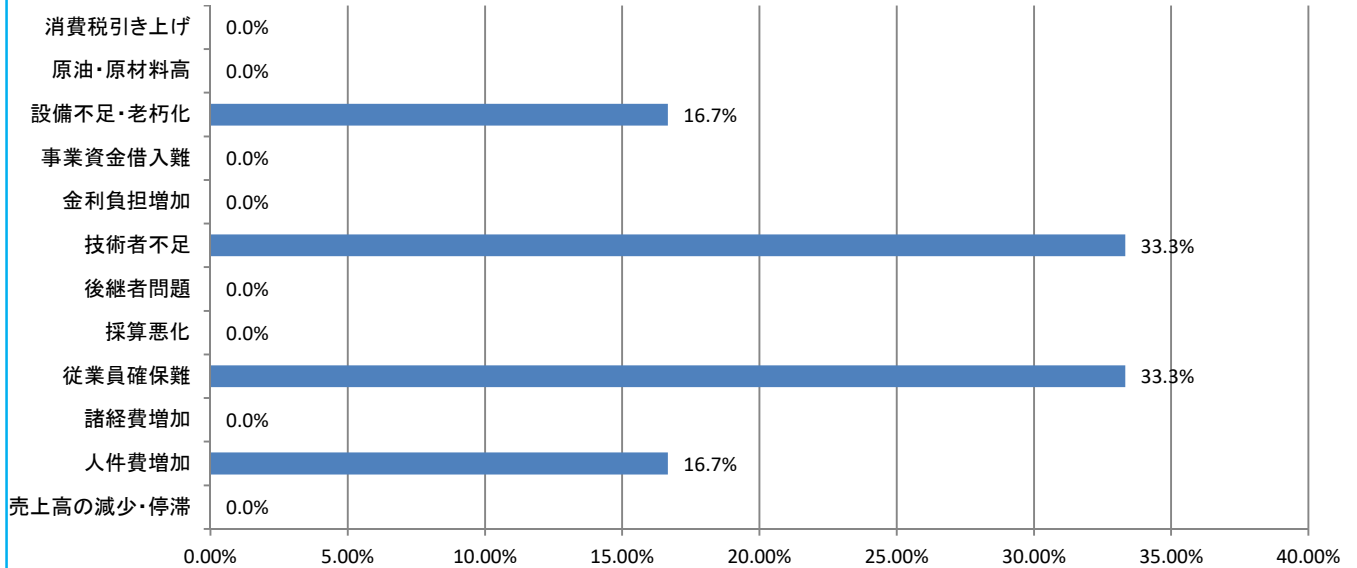
【サービス業】



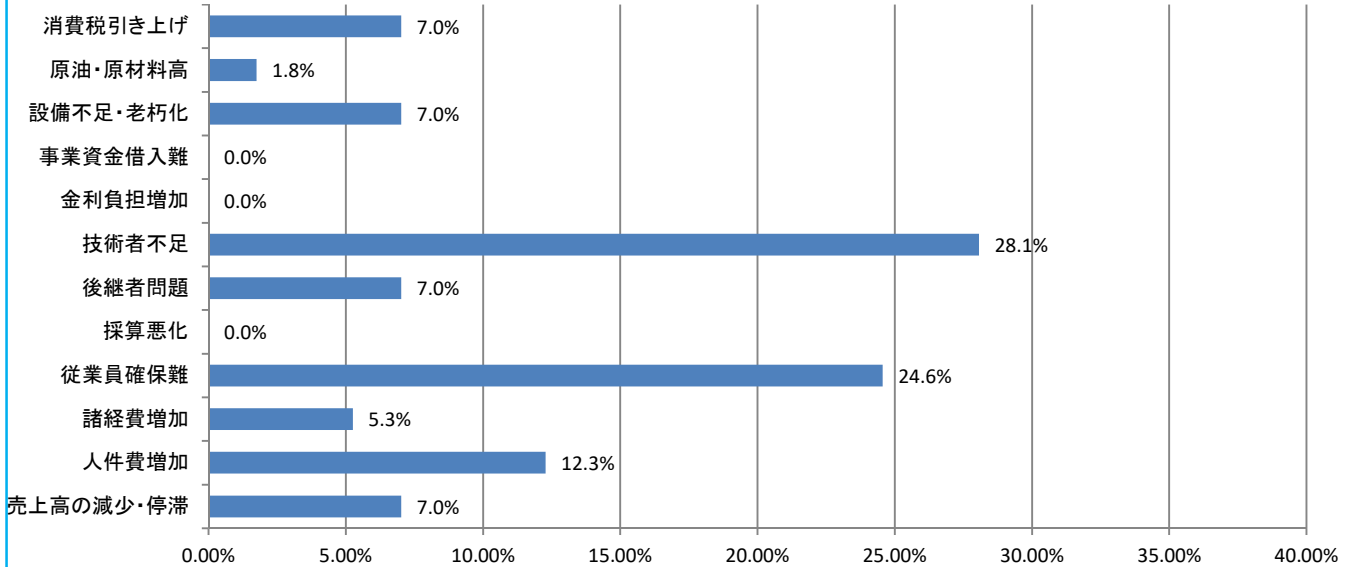
【その他】



【製造業】

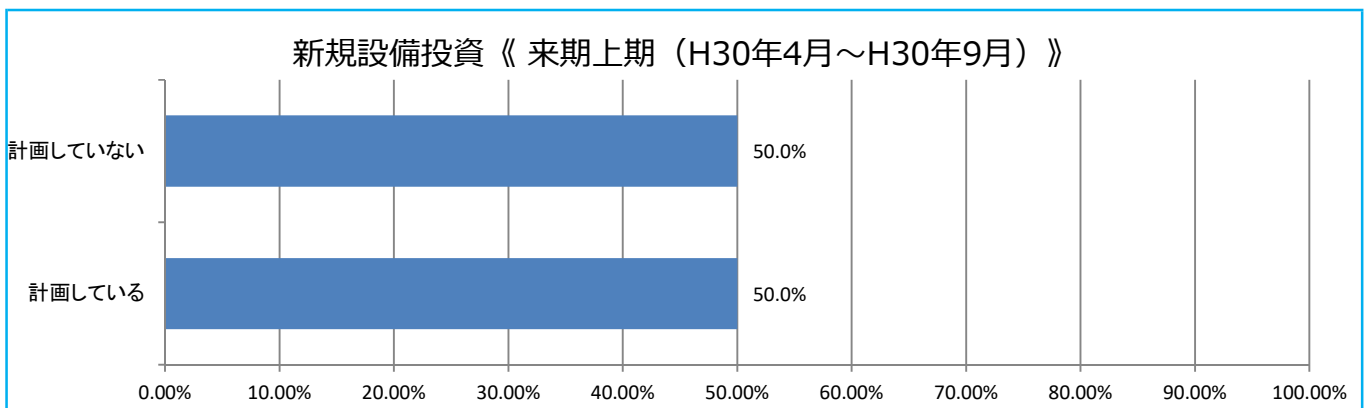
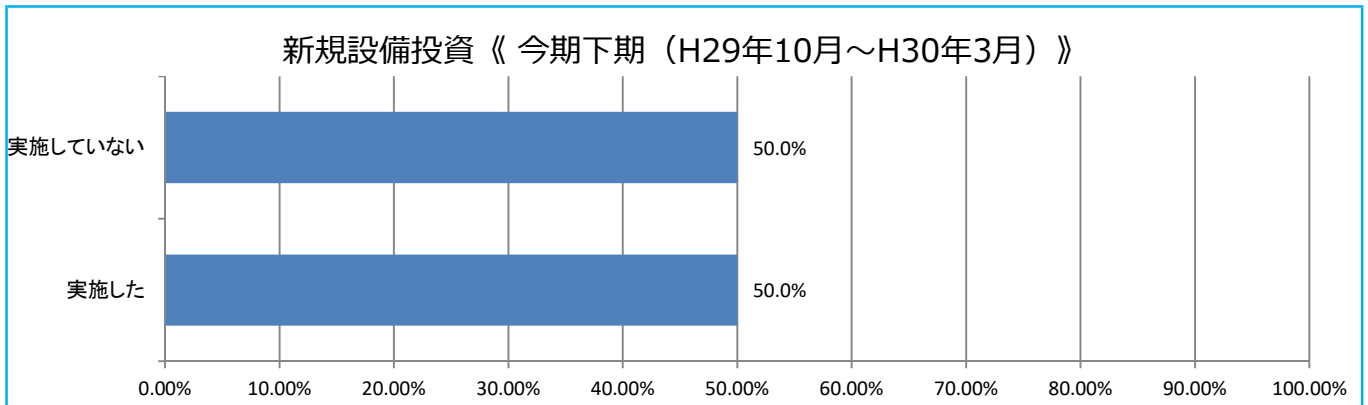


【建設業】



3. 新規設備投資状況

【製造業】



【建設業】

